



『第 9 回 健康寿命をのばそう！アワード』 厚生労働省健康局長優良賞の受賞について

厚生労働省が健康寿命延伸に向けた優れた取組を推進する「第 9 回健康寿命を延ばそう！アワード」において、新発田市の取組が生活習慣病予防分野で、厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。

●受賞取組名

「オールしばた」でめざす「健康長寿のまち しばた」の達成に向けて

●取組概要

新発田市は、脳血管疾患年齢調整死亡率が全国と比較して高い地域であり、昭和 40 年代から生活習慣病対策を地域等と連携して進めてきた経緯があるが、平成に入っても「めざせ 100 彩」を合言葉にした健康づくりや「食の循環によるまちづくり」に着目した食育、また介護予防では住民主体で運営されている地域の通いの場など、先進的な取組を行ってきました。

令和 2 年 3 月には、「新発田市健康長寿アクティブプラン」を策定し、「健康長寿のまち しばた」の達成に向け、「食」、「運動」、「医療」、「社会参加」の 4 分野において、市民・地域・学校・企業・関係団体など「オールしばた」の体制により取組を進めています。

【ここがポイント！】

- 地域住民の皆様、関係団体の皆様方のほか、新発田市保健自治会、新発田市食生活改善委員推進協議会、めざせ 100 彩健康づくり推進協議会など、市民の皆様とともに、取組を進めてきており、「オールしばた」の体制で取り組んだ結果の受賞です。





刀剣伝承館・天田昭次記念館 日本刀特別展示「中川コレクション」をご覧ください

月岡温泉にある「刀剣伝承館・天田昭次記念館」で、この度寄贈いただいた日本刀の特別展示を行っています。

【ここがポイント！】

日本刀の展示数は県内随一！

刀剣界の最高賞「正宗賞」受賞刀に加え、新たに人間国宝・故 天田昭次氏が制作した日本刀 4 振りを特別展示しています。

【概要】

刀剣伝承館・天田昭次記念館では、様々な種類の日本刀や刀鍛冶による刀の製作工程、実物の「玉鋼」や「鑄」などを間近でご覧いただけます。

また、刀剣類の展示館では珍しく写真撮影も可能となっております。

魅惑的な日本刀の世界をぜひご体感ください。

【刀剣伝承館・天田昭次記念館】

開館時間：9 時～17 時（最終入館 16 時 30 分）

休館日：毎週火曜日

（火曜日が祝日の場合は開館し、翌営業日に休館）

入館料：大人 360 円 小中学生 160 円

※特別展示期間 令和 3 年 6 月 30 日まで



問合せ先：観光振興課観光施設係

担当：畠山主事

電話：0254 - 28 - 9960



令和3年1月8日
観光振興課

「落谷虹児作品」と「寄付金」の寄贈について

【ここがポイント！】

当市が生んだ天才画家 落谷虹児のご子息である落谷龍夫氏から、自身が所有している父『落谷虹児の作品』と『寄付金』の寄贈を受けました。

寄付の概要

（1）作 品

市内循環バスのラッピングにも採用され、多くの市民に親しまれる「いっすんぼうし」や、東映動画（現在の東映アニメーション）の記念すべきカラーアニメーション第1作目となった「夢見童子」の原画など約300点と書籍等。



（2）寄付金

- ・金額 1千万円
- ・使途 落谷虹児作品の顕彰と収集に使用してほしいと願い寄附するもの



問合せ先：新発田市観光振興課 担当：水島
電話：0254-28-9960



信金中央金庫から企業版ふるさと納税による寄附の申出をいただきました。

信金中央金庫（東京都）から、当市が「蔵春閣」の移築・復元を契機として官民連携で取り組む新発田駅前エリアの活性化に向けた事業に賛同いただき、寄附の申出をいただきました。

【ここがポイント！】

信金中央金庫が創立 70 周年を記念して、『大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト』へ 10,000 千円の寄附をいただきます。

【概要】

●SCBふるさと応援団について

信金中央金庫が創立 70 周年を記念して行う、「SCBふるさと応援団」は、SDGs を踏まえた地域の課題解決及び持続可能な社会の実現に向け、信用金庫が立地する地方自治体を対象に、企業版ふるさと納税を通じた地方創生プロジェクトの推進を図るものです。（令和 2 年度対象自治体数 40 団体予定）

寄附者：信金中央金庫 理事長 柴田 弘之

寄附額：10,000 千円

寄附日：令和 3 年 2 月 24 日（予定）

●目録贈呈式の開催について

日 時：令和 3 年 2 月 8 日（月）16 時半

会 場：ヨリネスしばた

出席者：新発田市長 二階堂 馨

信金中央金庫（出席者調整中）

新発田信用金庫（出席者調整中）

目録贈呈式の詳細については、別途情報提供いたします。

問合せ先：みらい創造課企画政策係 担当：鈴木

電話：0254 - 22 - 3030（内線 1544）



大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト

新発田市出身『大倉喜八郎』により建築された向島別邸「蔵春閣」の移築・復元を契機とした～新発田駅前エリアの活性化～に取り組みます。大倉喜八郎の精神「困難に対して怯まず立ち止らず難局を突破する精神（進一層）」に共感いただき、プロジェクト通じた地方創生を応援いただける企業様からのご支援をお願いいたします。

プロジェクト概要

- ◇周辺施設との連携によるエリアマネジメント
- ◇エリアマネジメントを行うパートナー法人への支援
- ◇移築・復元過程の映像化
- ◇建築見学ツアーの開催
- ◇シンポジウム等の開催による市民意識の醸成
- ◇工専用囲いの有効活用
- ◇蔵春閣と一体となる周辺環境整備

新発田駅前エリアの活性化（周辺施設との連携）



蔵春閣という新たな市のシンボルを宝に、周辺施設と連携し、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を目指します。

大倉喜八郎と新発田市



新潟県新発田市出身

東京経済大学設立のほか、大成建設(株)やサッポロビール(株)などの大企業設立、鉄道事業への積極的関与など近代日本の礎を築いた人物。

出身地の新発田市に対しては

- ・大倉製紙新発田工場の設立
- ・水道事業への寄附
- ・現JR羽越本線敷設への協力
- ・大倉公園（現東公園）用地の寄附、整備など、郷土の発展にも尽力した。

向島別邸「蔵春閣」



撮影／写真家 岩崎 和雄

明治45年に大倉喜八郎により東京・向島（現東京都墨田区）隅田川沿いに建築された別邸の一部。伝統的な日本建築の外観でありながら、内装は和洋折衷の豪華な設えであり、当時の明治宮殿と同様の宮殿建築様式を残す建物である。迎賓館としての役割を持ち、伊藤博文や渋沢栄一などの政財界の大物や、海外からの賓客が招かれた。この度、（公財）大倉文化財団から新発田市に寄附されることとなり、JR新発田駅前の東公園へ移築されることが決定した。

お問い合わせ
新潟県新発田市みらい創造課
TEL：0254-28-9530
FAX：0254-22-3110